

○プログラムの目的

「A I戦略2019（統合イノベーション戦略推進会議決定）」に基づき、「文理を問わず、すべての大学生が、初級レベルの数理・データサイエンス・A Iを習得する」及び「自らの専門分野への数理・データサイエンス・A Iの応用基礎力を習得する」という国家戦略の達成に向けて、全学部学生を対象とした数理・データサイエンス・A I教育プログラムを実施する。

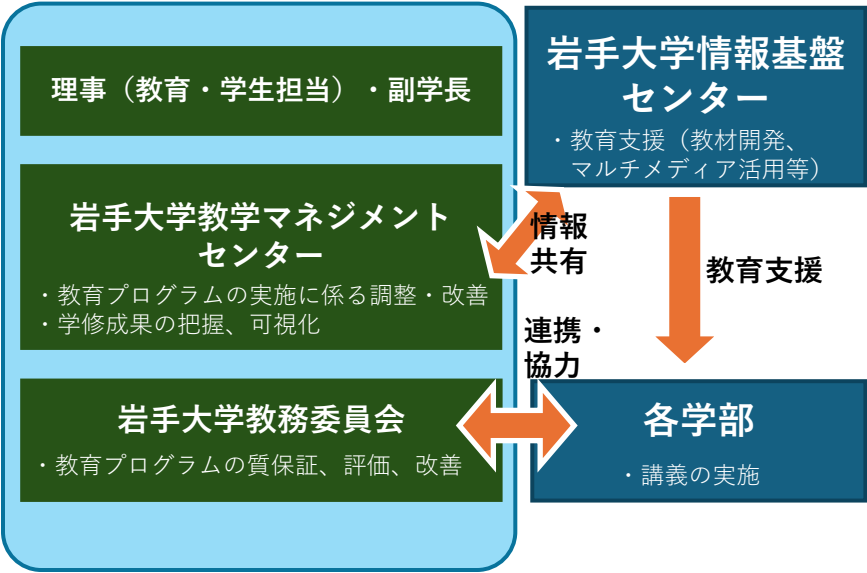
○身に付けることのできる能力

- 教職を志す学生が本プログラムを履修することで、数理・データサイエンス・A Iに関する基礎的な知識、活用法を習得して児童生徒の教育データ利活用に基づく質の高い教育を提供することができる。
- 教員自らの授業実践を統計的手法を活用してその効果を検証できるようになり、授業改善に役立てることができる。
- 初等中等教育において強化すべきプログラミング教育、統計教育に活かすことができる。
- ビックデータ、A I活用の際に発生する情報倫理の問題点(例えばプライバシー権や著作権等)を理解するとともに、初等中等教育における情報モラル教育を推進できるようになる。
- 教師あり学習、教師なし学習、学習、認識、予測、評価、ホールドアウト法などの機械学習を理解し、これからの社会におけるA Iの活用法について理解を深めることができる。

○プログラム実施体制

岩手大学教学マネジメントセンターは、「教育の実施に係る調整及び改善に関すること」、「学修成果や教育成果の把握・可視化に関すること」等、岩手大学情報基盤センターは、「情報教育に関すること」、「教材開発及びマルチメディア環境を活用した教育活動の支援に関すること」等、岩手大学教務委員会は、「教育の実施（内部質保証を含む。）に関すること」、「教育の評価に関すること」、「教育の改善に関すること」等を任務としている。2つのセンターと岩手大学教務委員会が連携・協力し、「A I戦略2019（統合イノベーション戦略推進会議決定）」に基づき、「文理を問わず、すべての大学生が、初級レベルの数理・データサイエンス・A Iを習得する」という国家戦略の達成に向けて、全学部学生を対象とした教育プログラムの策定、実施、質保証、教育改善・進化を行う。

岩手大学 MDASH 応用基礎プログラム（教育学部）



○修了要件・科目構成

必修科目3科目5単位（「情報基礎A」、「プログラミング基礎」、「統計的機械学習実践」）を修得し、さらに選択科目2科目4単位から1科目2単位以上（「基礎統計解析の理論と実践」、「心理学統計法」）を修得し、合計7単位以上を修得すること。

授業科目	必修	選択	修了要件
情報基礎A	2		5
プログラミング基礎	1		
統計的機械学習実践	2		
基礎統計解析の理論と実践		2	2
心理学統計法		2	
合計			7